

## 海外短期留学合同報告会

平成25年11月26日（火）18：00～19：30

大塚講堂

大学間または学部との部局間協定締結校に今年度短期留学した学生による合同報告会が開催されました。本報告会はこれまで医学部単独での開催でしたが、今年は、600人収容可能な大塚講堂が完成したこともあり、規模を拓げてヘルスバイオサイエンス（HBS）研究部主催による合同報告会として開催されました。報告会では、苛原稔HBS研究部長の開会のご挨拶で始まり、医学部と歯学部の学生が、テキサス大学ヒューストンヘルスサイエンスセンター（米国）、ガジャマダ大学（インドネシア）、ムハマディア大学（インドネシア）、ハノーバー医科大学（ドイツ）、ヘルシンキ・メトロポリア応用科学大学（フィンランド）への留学体験報告を行いました。また、ステューデント・ラボからスペインのバルセロナで開催された「第49回欧州糖尿病学会議」に出席した学生の報告も併せて行われました。留学先や期間は様々ですが、研究成果、異文化交流、グローバルコミュニケーションの重要性等について貴重な体験が報告されました。最後に、伊賀弘起副歯学部長による閉会のご挨拶で、報告会を終了しました。医学部からの学生派遣は、今年度でテキサス大学ヒューストンヘルスサイエンスセンターが6回目、ハノーバー医科大学が5回目、ヘルシンキ・メトロポリア応用科学大学が3回目となり、次年度以降も継続していく予定です。



苛原 HBS 研究部長



報告会の様子



報告を行った学生と伊賀副歯学部長ら大学関係者